

平成24年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	栃木県		市町村類型	中核市	指定団体等の指定状況		区分	平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分	平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)	
					財政健全化等	×							
市町村名	宇都宮市		地方交付税種地	1-6	財源超過	×	歳入総額	187,857,312	192,327,863	実質収支比率	4.2	3.9	
					首都	○	歳出総額	182,705,054	187,188,020	経常収支比率	93.1	90.6	
					近畿	×	歳入歳出差引	5,152,258	5,139,843	(※1)	(99.0)	(96.8)	
					中部	×	翌年度に繰越すべき財源	935,784	1,188,900	標準財政規模	101,519,533	101,056,926	
人口	22年国調(人)	511,739	産業構造(※5)			実質収支	4,216,474	3,950,943	財政力指数	0.94	0.96		
	17年国調(人)	502,396		過疎	×	単年度収支	257,862	1,198,761	公債費負担比率	14.4	14.3		
	増減率(%)	1.9		山振	×	積立金	34,125	55,573	健全化判断比率				
住民基本台帳人口(※7)	25.03.31(人)	516,546	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-
	うち日本人(人)	509,574		5,534	7,320	指数表選定	○	実質単年度収支	291,987	1,342,151	実質赤字比率	-	-
	24.03.31(人)	508,635	第2次					基準財政収入額	68,864,490	67,916,552	実質公債費比率	7.5	8.3
	うち日本人(人)	508,635		58,661	63,626			基準財政需要額	72,763,893	72,841,479	将来負担比率	17.7	23.1
	増減率(%)	1.6	第3次					標準税収入額等	89,827,713	87,949,456	資金不足比率(※4)		
	うち日本人(%)	0.2		160,370	168,620			経常経費充当一般財源等	95,782,735	95,559,478			
面積(km ²)	416.84			71.4	69.0		歳入一般財源等	114,686,634	118,044,333				
人口密度(人/km ²)	1,228												
世帯数(世帯)	210,482												
職員の状況													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	125,628,743	127,385,834			
	市区町村長	1	11,092	一般職員	2,942	10,008,684	3,402	うち公的資金	78,892,825	81,680,039			
	副市区町村長	2	9,024	うち消防職員	456	1,583,688	3,473	債務負担行為額(支出予定額)	22,822,990	25,173,108			
	教育長	1	7,097	うち技能労務職員	183	607,377	3,319	収益事業収入	200,000	200,000			
	議会議長	1	8,000	教育公務員	52	204,360	3,930	土地開発基金現在高	2,698,638	2,696,380			
	議会副議長	1	7,100	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	12,672,920	11,638,795			
	議会議員	45	6,700	合計	2,994	10,213,044	3,411	減債基金	8,206,774	7,777,577			
				ラスバイレス指数(※6)		110.5	(102.1)	その他特定目的基金	11,190,596	11,685,814			
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧							(※3)	
項番	会計名	項番	会計名	項番	項番	項番	項番	項番	組合等名	団体名			
(1)	一般会計	(10)	国民健康保険	(15)	水道事業	(18)	土地取得事業	(19)	栃木県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(24)	宇都宮市医療保健事業団		
(2)	生活排水処理事業	(11)	介護保険	(16)	下水道事業			(20)	栃木県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(25)	宇都宮市老人クラブ連合会		
(3)	母子寡婦福祉資金貸付事業	(12)	後期高齢者医療	(17)	中央卸売市場事業			(21)	栃木県市町村総合事務組合(一般会計)	(26)	宇都宮市農業公社		
(4)	都市開発資金事業	(13)	駐車場					(22)	栃木県市町村総合事務組合(特別会計)	(27)	グリーントラストうつのみや		
(5)	鶴田第2土地区画整理事業	(14)	競輪					(23)	宇都宮市街地開発組合	(28)	宇都宮市体育文化振興公社		
(6)	宇大東南部第1土地区画整理事業									(29)	宇都宮市土地開発公社		
(7)	宇大東南部第2土地区画整理事業									(30)	うつのみや文化創造財団		
(8)	岡本駅西土地区画整理事業												
(9)	育英事業												

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。
 ※7：住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	87,874,640	46.8	82,746,618	85.5	普通税	79,615,250	90.6	1,871,923
地方譲与税	1,321,397	0.7	1,321,397	1.4	法定普通税	79,615,250	90.6	1,871,923
利子割交付金	162,614	0.1	162,614	0.2	市町村民税	40,456,660	46.0	1,871,923
配当割交付金	143,223	0.1	143,223	0.1	個人均等割	733,660	0.8	-
株式等譲渡所得割交付金	41,734	0.0	41,734	0.0	所得割	29,554,629	33.6	-
地方消費税交付金	5,297,752	2.8	5,297,752	5.5	法人均等割	2,152,896	2.4	365,518
ゴルフ場利用税交付金	139,972	0.1	139,972	0.1	法人税割	8,015,475	9.1	1,506,405
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	34,340,122	39.1	-
自動車取得税交付金	456,097	0.2	456,097	0.5	うち純固定資産税	34,175,450	38.9	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	693,180	0.8	-
地方特例交付金	346,538	0.2	346,538	0.4	市町村たばこ税	4,125,259	4.7	-
地方交付税	7,601,914	4.0	5,540,908	5.7	釧産税	29	0.0	-
普通交付税	5,540,908	2.9	5,540,908	5.7	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	709,114	0.4	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	1,351,892	0.7	-	-	目的税	8,259,390	9.4	-
(一般財源計)	103,385,881	55.0	96,196,853	99.4	法定目的税	8,259,390	9.4	-
交通安全対策特別交付金	101,991	0.1	101,991	0.1	入湯税	24,745	0.0	-
分担金・負担金	1,937,996	1.0	-	-	事業所税	3,106,623	3.5	-
使用料	2,558,043	1.4	160,463	0.2	都市計画税	5,128,022	5.8	-
手数料	1,759,743	0.9	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	28,556,287	15.2	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	123,877	0.1	123,877	0.1	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	8,904,174	4.7	-	-	合計	87,874,640	100.0	1,871,923
財産収入	823,465	0.4	145,537	0.2				
寄附金	12,534	0.0	-	-				
繰入金	2,729,035	1.5	-	-				
繰越金	2,147,512	1.1	-	-				
諸収入	21,343,974	11.4	1,455	0.0				
地方債	13,472,800	7.2	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	6,150,900	3.3	-	-				
歳入合計	187,857,312	100.0	96,730,176	100.0				

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	17,804,946	実質収支	3,595
下水道	6,148,041	再差引収支	-821,143
その他	687,091	加入世帯数(世帯)	78,289
上水道	112,457	被保険者数(人)	136,619
市場	71,961	被保険者	89
国民健康保険	3,310,556	1人当り	91
その他	7,474,840	保険税(料)収入額	241
		国庫支出金	91
		保険給付費	241

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	974,748	0.5	-	974,748	
総務費	16,894,554	9.2	386,144	15,169,256	
民生費	62,133,004	34.0	1,550,478	29,766,284	
衛生費	12,724,918	7.0	1,536,660	9,489,730	
労働費	633,312	0.3	-	100,895	
農林水産業費	2,416,937	1.3	518,870	2,140,886	
商工費	19,788,103	10.8	191,333	1,166,516	
土木費	25,177,877	13.8	11,773,559	14,676,403	
消防費	5,112,944	2.8	428,418	4,742,918	
教育費	19,107,963	10.5	5,553,366	14,653,574	
災害復旧費	739,442	0.4	-	89,283	
公債費	17,001,252	9.3	-	16,563,883	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	182,705,054	100.0	21,938,828	109,534,376	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	91,072,966	49.8	60,639,317	59,772,959	58.1
人件費	31,548,737	17.3	29,636,264	28,781,129	28.0
うち職員給	19,955,770	10.9	18,621,656	-	-
扶助費	42,522,977	23.3	14,439,170	14,427,947	14.0
公債費	17,001,252	9.3	16,563,883	16,563,883	16.1
元利償還金	16,998,174	9.3	16,560,805	16,560,805	16.1
内 うち元金	15,229,891	8.3	14,858,723	14,858,723	14.4
訳 うち利子	1,768,283	1.0	1,702,082	1,702,082	1.7
一時借入金利子	3,078	0.0	3,078	3,078	0.0
その他の経費	68,957,110	37.7	42,058,614	36,009,776	35.0
物件費	22,453,890	12.3	18,048,490	17,212,334	16.7
維持補修費	1,981,574	1.1	1,768,174	1,768,174	1.7
補助費等	11,333,567	6.2	10,364,568	9,465,068	9.2
うち一部事務組合負担金	70,192	0.0	70,159	70,159	0.1
繰出金	12,130,330	6.6	10,422,645	7,446,555	7.2
積立金	697,139	0.4	620,652	-	-
投資・出資金・貸付金	20,360,610	11.1	834,085	117,645	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	22,674,978	12.4	6,836,445	-	-
うち人件費	1,004,830	0.5	988,730	-	-
内 普通建設事業費	21,938,828	12.0	6,750,454	-	-
うち補助	9,781,927	5.4	578,272	-	-
うち単独	12,075,662	6.6	6,144,824	-	-
災害復旧事業費	736,150	0.4	85,991	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	182,705,054	100.0	109,534,376	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成24年度 栃木県宇都宮市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	183,510	178,604	4,906	4,130	3,190	115,719	
2 生活排水処理事業	1,717	1,717	0	0	836	5,260	
3 母子寡婦福祉資金貸付事業	180	95	86	86	2	-	
4 都市開発資金事業	635	635	-	-	174	1,176	
5 鶴田第2土地区画整理事業	1,705	1,633	71	0	708	2,592	
6 宇大東南部第1土地区画整理事業	1,587	1,550	37	-	587	3,162	
7 宇大東南部第2土地区画整理事業	758	745	13	-	232	629	
8 岡本駅西土地区画整理事業	1,716	1,677	38	-	486	2,286	
9 育英事業	256	256	1	1	48	-	
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成24年度

栃木県宇都宮市

人口	516,546人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	509,574人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	416.84km ²		実質公債費比率	7.5%
入総額	187,857,312千円		将来負担比率	17.7%
出総額	182,705,054千円			
実収支	4,216,474千円		市町村類型	H20 中核市 H21 中核市 H22 中核市
標準財政規模	101,519,533千円		(年度毎)	H23 中核市 H24 中核市
地方債現在高	126,628,743千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

財政力

財政力指数 [0.94]

類似団体内順位 4/41 全国平均 0.49 栃木県平均 0.71

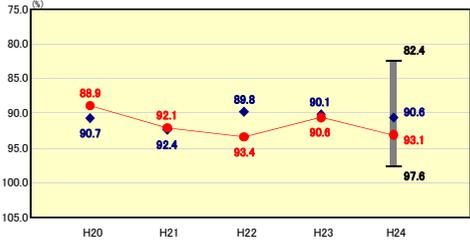


財政力指数の分析欄
財政力指数(3か年平均)は、生活保護費等の増加により前年度と比べて0.02ポイント低下している。収納対策の強化などにより市税等の自主財源を確保するとともに、施策・事業の「選択と集中」の徹底など、効果的・効率的な財政運営と財政の健全化に努めていく。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [93.1%]

類似団体内順位 30/41 全国平均 90.7 栃木県平均 90.1

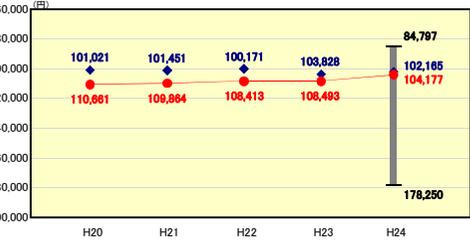


経常収支比率の分析欄
経常収支比率は、評価替えに伴う固定資産税の減などに伴い、経常一般財源が減少する中、生活保護費などの社会保障関係経費の増により、経常的経費充当一般財源が増加したことなどから、前年度と比べて2.5ポイント上昇した。自主財源の積極的な確保に努めるとともに、生活保護費における自立支援対策の推進など社会保障関係経費を抑制し、財政構造の弾力性の向上に努めていく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [104,177円]

類似団体内順位 28/41 全国平均 116,454 栃木県平均 108,879

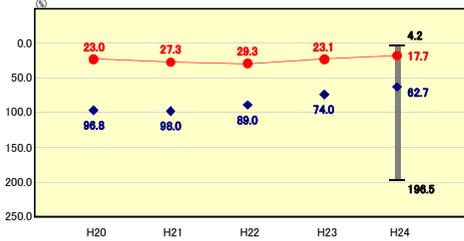


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
職員数や退職手当の減に伴う人件費の減少や、雇支援対策費の減による物件費の減少などにより、前年度より減少している。今後とも、定員管理、給与の適正化により人件費を抑制するとともに、施策・事業の「選択と集中」などにより、事業の効率化を図っていく。

将来負担の状況

将来負担比率 [17.7%]

類似団体内順位 8/41 全国平均 60.0 栃木県平均 27.7

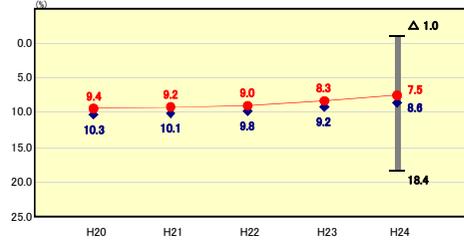


将来負担比率の分析欄
過去の大型建設事業債の一部償還終了により、市債現在高が減少したことなどから、前年度と比較して5.4ポイント低下した。今後とも、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を図ることで市債残高を抑制していくとともに、財政運営の長期的な安定性を確保するため、基金を計画的に積み立てていくことなどにより、将来負担を抑制していく。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [7.5%]

類似団体内順位 12/41 全国平均 9.2 栃木県平均 8.1

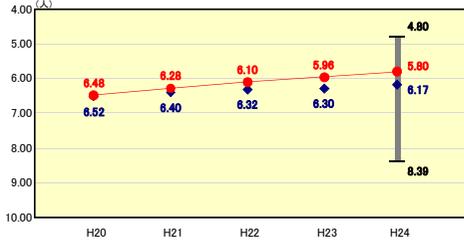


実質公債費比率の分析欄
実質公債費比率(3か年平均)は、過去の大型建設事業に係る市債償還の一部完了により、元利償還金が減少したことなどから、前年度と比較して0.8ポイント減少している。今後とも、公債費が将来の財政運営の大きな負担とならないよう、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を堅持することで、市債残高の抑制に努めていく。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [5.80人]

類似団体内順位 11/41 全国平均 7.00 栃木県平均 6.77

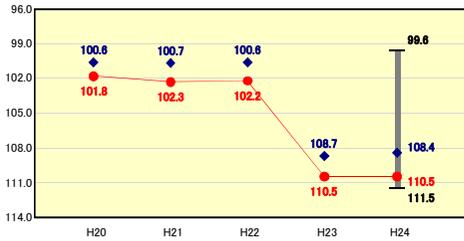


人口千人当たり職員数の分析欄
平成22年3月に策定した「組織整備・定員適正化に関する方針」に目標として掲げた平成27年度の職員3,300人体制に向け、定員の適正化に取り組んでいる。平成24年度は平成23年度の5.96人に比べ0.16人少ない5.80人となっており、順調に定員の適正化が図られている。引き続き、外部委託の推進、再任用など多様な人材の活用、簡素で機動的な職制の整備などに取り組み、定員の適正化を進めていく。

給与水準(国との比較)

ラスパイルズ指数 [110.5]

類似団体内順位 38/41 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



ラスパイルズ指数の分析欄
平成13年の職務の級の見直しによる給与水準の引き下げや、平成18年の年功的給与上昇の抑制等を目的とした給与構造改革の実施など、給与制度の適正化に努めてきた。平成23・24年は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置により、指数が大きく上昇したが、同措置が無いとした場合の参考値は102.1であり、平成21年以降指数は低下傾向にある。今後とも、国や県並びに他市の制度との均衡を踏まえながら、適正な給与制度の構築に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

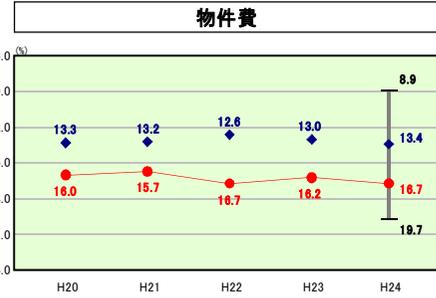
栃木県宇都宮市

経常収支比率の分析

人	516,546	人(H25.3.31現在)		-	%
うち日本	509,574	人(H25.3.31現在)		-	%
口	416.84	千円			
入	187,857,312	千円	実	赤	比
出	182,705,054	千円	結	実	赤
実	4,216,474	千円	算	負	担
標準	101,519,533	千円	率		
地方	125,628,743	千円	率	7.5	%
			率	17.7	%
			市	町	村
			(年	度
			毎		
			類	H20	中核市
			型	H21	中核市
				H22	中核市
				H23	中核市
				H24	中核市

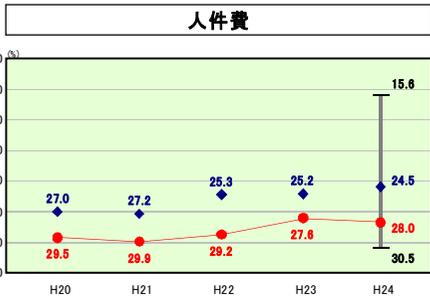
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



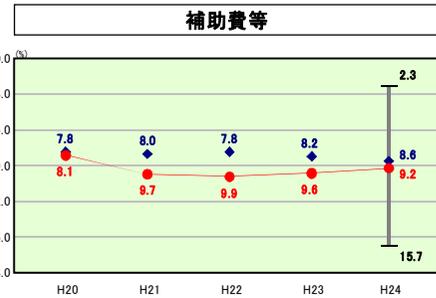
類似団体内順位 37/41 全国平均 13.3 栃木県平均 14.6

物件費の分析欄
雇用支援対策費などの減少に伴い、人口1人当たりの歳出決算額は前年度より2,184円減少し43,469円となった。類似団体平均を上回っていることから、施策・事業の「選択と集中」などにより、事業の効率化を図っていく。



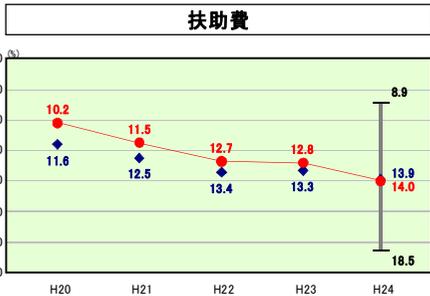
類似団体内順位 34/41 全国平均 24.8 栃木県平均 26.5

人件費の分析欄
職員数及び退職手当が減少したため、人口1人当たりの歳出決算額は前年度より1,733円減少し、61,077円となった。類似団体平均を上回っていることから、組織機構のスリム化、定員の適正化や配置の重点化などに取り組んでいく。



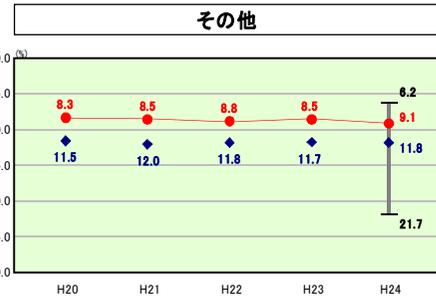
類似団体内順位 24/41 全国平均 10.1 栃木県平均 9.6

補助費等の分析欄
市税等の前納報償金の交付率引き下げなどに伴い、人口1人当たりの歳出決算額は前年度より557円減少し、21,941円となった。類似団体平均を上回っていることから、長期化している補助金などについては必要性や効果などを継続的に検証し、見直しを図っていく。



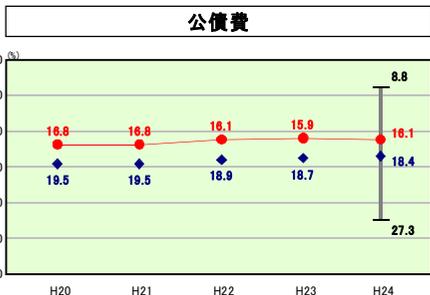
類似団体内順位 26/41 全国平均 11.2 栃木県平均 9.9

扶助費の分析欄
制度改正による障がい者自立支援費の増や、生活保護受給者の増加に伴い、人口1人当たりの歳出決算額は前年度より691円増加し、82,322円となった。生活保護費における自立支援対策の推進などに取り組み、社会保障関係経費の抑制に努めていく。



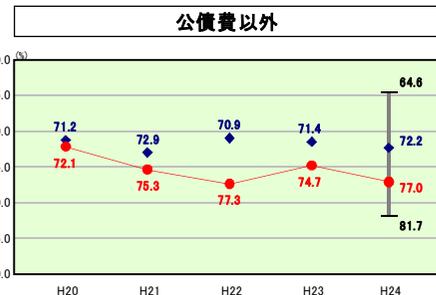
類似団体内順位 4/41 全国平均 12.5 栃木県平均 13.1

その他の分析欄
中小企業事業資金貸付金の減少などに伴い、人口1人当たりの歳出決算額は前年度より106円減少し、66,737円となった。類似団体平均を下回っていることから、引き続き、適正な支出に努めていく。



類似団体内順位 11/41 全国平均 18.8 栃木県平均 16.4

公債費の分析欄
市債の元利償還金の減少などにより、人口1人当たりの歳出決算額は前年度より1,330円減少し、32,913円となった。類似団体平均を下回っていることから、引き続き、計画的な市債の発行などにより、公債費の抑制に努める。



類似団体内順位 35/41 全国平均 71.9 栃木県平均 73.7

公債費以外の分析欄
人件費や物件費の影響により、類似団体平均を上回っていることから、定員の適正化や施策・事業のスクラップなどを推進し、財政構造の柔軟性や安定性の確保に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

栃木県宇都宮市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	31,548,737	61,076	59,706	▲ 2.3
賃金(物件費)	362,922	703	2,410	▲ 70.8
一部事務組合負担金(補助費等)	47,756	92	1,490	▲ 93.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	708	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	10,885	21	21	0.0
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	626,192	1,212	1,743	▲ 30.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,004,830	1,945	1,244	▲ 56.4
▲退職金	▲ 3,177,064	▲ 6,151	▲ 6,780	▲ 9.3
合計	30,424,258	58,899	60,543	▲ 2.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.80	6.17	▲ 0.37
ラスパイレズ指数	110.5	108.4	2.1

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

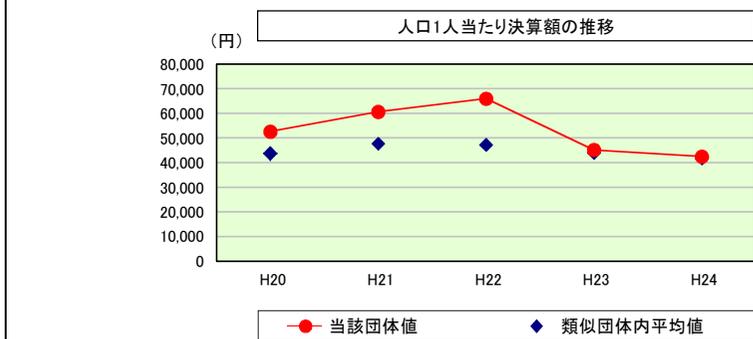


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	17,380,302	33,647	40,888	▲ 17.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	83,333	161	115	40.0
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	5,144,781	9,960	10,520	▲ 5.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	418	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	616,189	1,193	969	23.1
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	1,866	4	6	▲ 33.3
▲特定財源の額	▲ 4,267,321	▲ 8,261	▲ 8,453	▲ 2.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 12,918,414	▲ 25,009	▲ 30,035	▲ 16.7
合計	6,040,736	11,694	14,427	▲ 18.9

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

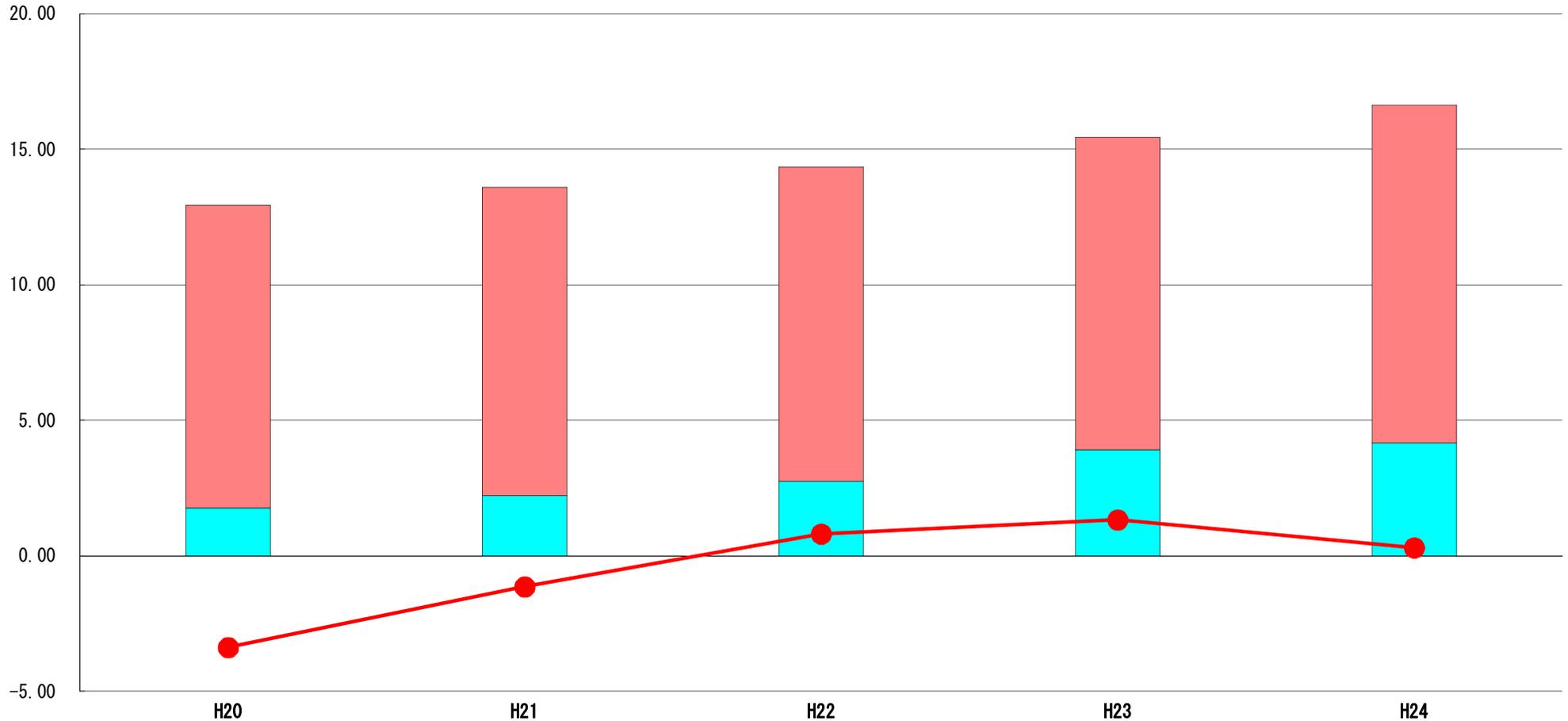
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	26,587,652	52,614	▲ 6.9	43,753	▲ 7.5	0.6
うち単独分	17,063,459	33,767	▲ 3.0	27,265	▲ 6.2	3.2
H21	30,662,795	60,622	15.2	47,646	8.9	6.3
うち単独分	15,892,110	31,420	▲ 7.0	27,308	0.2	7.2
H22	33,451,668	66,002	8.9	47,155	▲ 1.0	9.9
うち単独分	17,023,729	33,589	6.9	26,802	▲ 1.9	8.8
H23	22,971,711	45,163	▲ 31.6	43,858	▲ 7.0	▲ 24.6
うち単独分	13,291,159	26,131	▲ 22.2	23,714	▲ 11.5	▲ 10.7
H24	21,938,828	42,472	▲ 6.0	41,705	▲ 4.9	▲ 1.1
うち単独分	12,075,662	23,378	▲ 10.5	22,742	▲ 4.1	▲ 6.4
過去5年間平均	27,122,531	53,375	▲ 4.1	44,823	▲ 2.3	▲ 1.8
うち単独分	15,069,224	29,657	▲ 7.2	25,566	▲ 4.7	▲ 2.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成24年度

栃木県宇都宮市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		11.16	11.39	11.59	11.52	12.48
 実質収支額		1.77	2.21	2.75	3.91	4.15
 実質単年度収支		▲ 3.38	▲ 1.14	0.80	1.33	0.29

分析欄

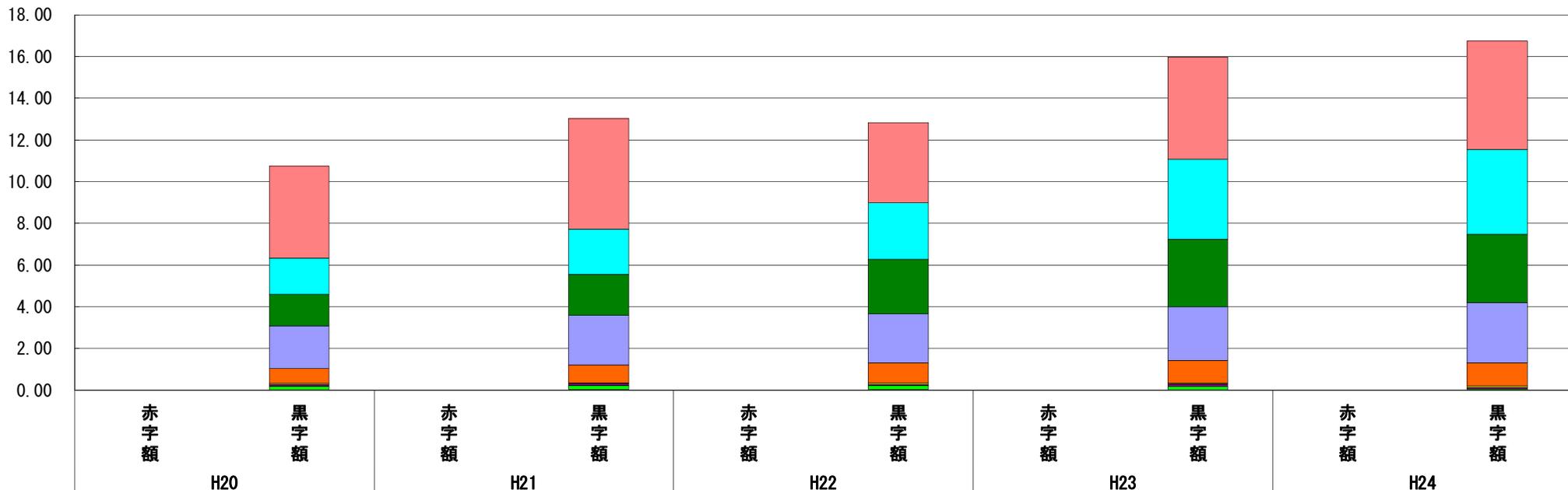
実質単年度収支は前年度に比べて減少したものの、財政調整基金残高は増、実質収支額はH21年度から4か年連続で上昇している。今後も分析結果を踏まえ、効果的かつ効率的な行政運営に取り組んでいく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成24年度

栃木県宇都宮市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
水道事業		4.40	5.30	3.83	4.91	5.22
一般会計		1.73	2.18	2.72	3.85	4.07
土地取得事業		1.53	1.96	2.62	3.24	3.27
下水道事業		2.03	2.37	2.35	2.57	2.89
中央卸売市場事業		0.73	0.86	0.97	1.06	1.10
母子寡婦福祉資金貸付事業		0.04	0.03	0.07	0.07	0.08
競輪		0.09	0.09	0.05	0.12	0.07
介護保険		0.17	0.21	0.19	0.15	0.04
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.02	0.03	0.03	0.02	0.02

分析欄

一般会計をはじめ、公営企業を含む特別会計すべてが黒字または収支均衡となっている。
 今後も、効果的かつ効率的な行財政運営に取り組んでいく。

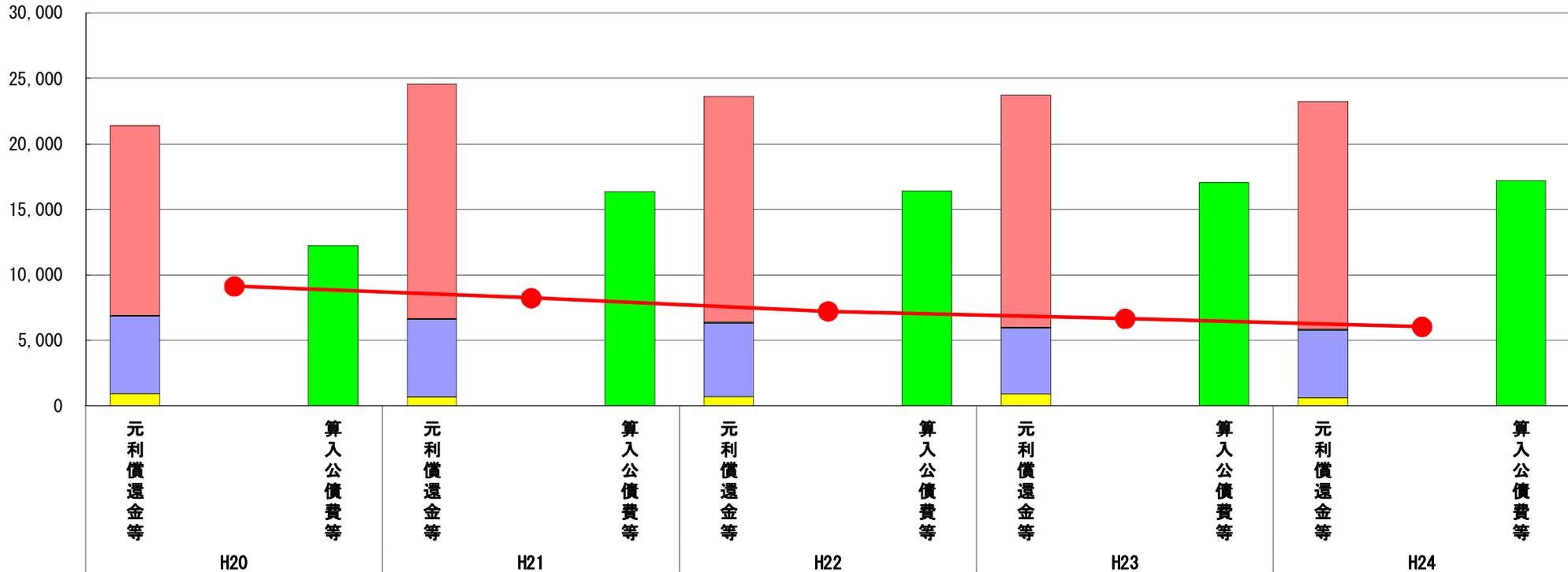
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出しにくい団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

栃木県宇都宮市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等(A)	元利償還金		14,464	17,919	17,216	17,676	17,380
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		47	60	73	83	83
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		5,926	5,927	5,619	5,036	5,145
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		936	659	691	886	616
	一時借入金の利子		1	1	6	1	2
算入公債費等(B)	算入公債費等		12,239	16,326	16,385	17,031	17,187
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		9,135	8,240	7,220	6,651	6,039

分析欄

元利償還金について、東図書館建設事業債及び、東コミュニティセンター建設事業債など、過去の大型建設事業に係る市債償還の一部完了により、元利償還金が減少したことなどから、実質公債費比率の分子は減少している。

今後とも、公債費が将来の財政運営の大きな負担とならないよう、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を図ることで、市債残高の抑制に努める。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

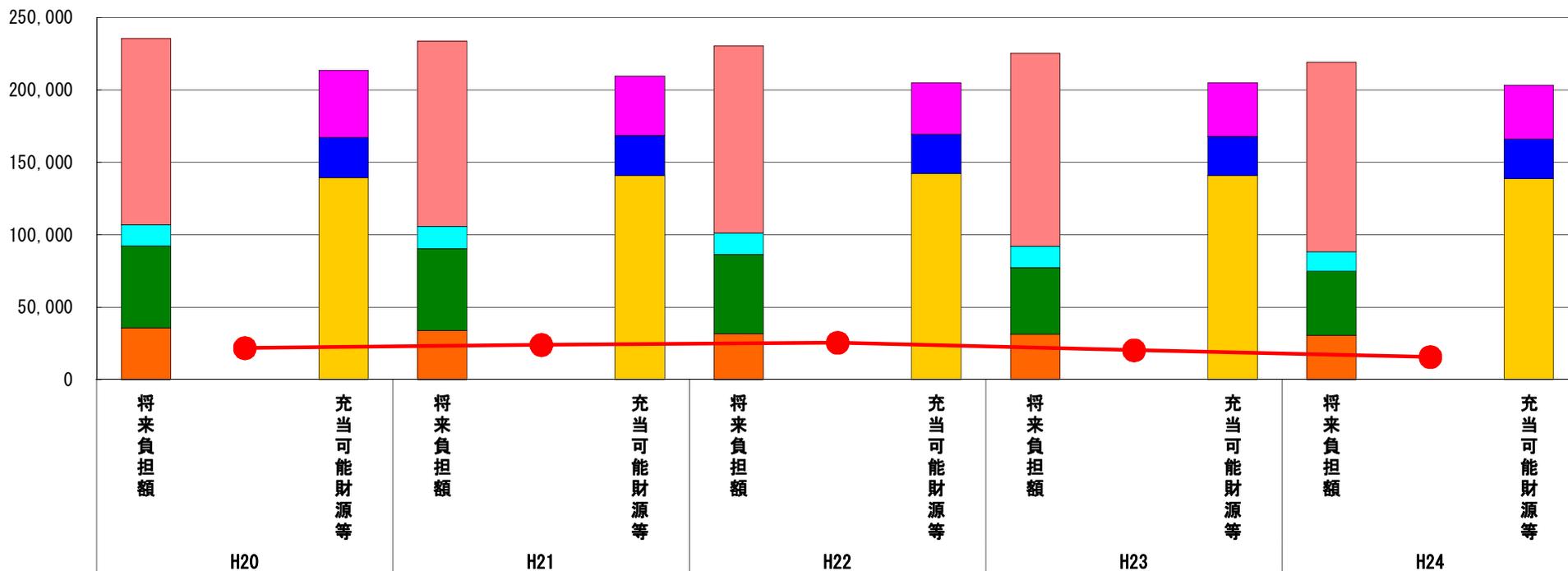
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

栃木県宇都宮市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		128,580	127,824	129,337	133,049	130,823
	債務負担行為に基づく支出予定額		14,458	15,309	14,541	14,568	13,567
	公営企業債等繰入見込額		56,765	56,301	54,576	46,180	43,937
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		35,704	34,078	31,772	31,327	30,708
	設立法人等の負債額等負担見込額		18	34	63	-	65
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		46,457	40,667	35,427	36,645	37,287
	充当可能特定歳入		27,873	27,806	27,010	27,131	27,524
	基準財政需要額算入見込額		139,302	140,927	142,260	140,941	138,597
(A) - (B)	将来負担比率の分子		21,892	24,146	25,591	20,407	15,693

分析欄

一般会計等に係る地方債残高は、小学校整備事業債及び、クリーンパーク茂原整備事業債など過去の大型建設事業に係る市債償還の一部完了に伴い、前年度より約22億円減少した。

公営企業債等繰入見込額は、水道事業、下水道事業、中央卸売市場事業における公営企業債残高が減少したことにより、前年度より約22億円減少した。

また、職員数の減により、退職手当負担見込額が減少し続けていることなどから、「将来負担額」全体は、毎年減少している。

将来負担額に充当可能な財源である基金は、決算剰余金などを活用し、計画的に積み立てていることから増加している。

基準財政需要額算入見込額は、需要額の算定における流域下水道及び公共下水道事業などに係る地方債残高の減少により、算入見込額が減少した。

その結果、「充当可能財源等」全体は減少したが、「将来負担額」全体も減少したことから、差引きした額である将来負担比率の分子は減少している。

今後については、プライマリーバランスの黒字化を念頭に、元金償還額以内の市債発行を図ることで、市債残高を抑制していくことに加え、将来の行政需要や年度間の財政調整に的確に対応し、財政運営の長期的な安定性を確保するため、基金を計画的に積み立てていくことなどにより、将来負担を抑制し、財政の健全化に努めていく。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。